

講座名（専門科目名）	皮膚科学	教授氏名	藤本 学
学生への指導方針	学生の希望を重視し、臨床に還元できる研究テーマと指導教官を決める。		
学生に対する要望	基礎領域の教室との共同研究を推進する。大学院修了後は積極的に海外留学する。		
問 合 せ 先	(Tel) 06-6879-3031 (Email) info-derma@derma.med.osaka-u.ac.jp	担 当 者	藤本 学
その他出願にあたっての注意事項等			

(以下教室紹介)

大阪大学皮膚科学教室は 1903 年（明治 36 年）に櫻根孝之進先生が初代教授として「皮華科」の名称で開設されました。脈々と続く歴史を引き継ぎ、難治性皮膚疾患の基礎研究や創薬研究を展開しています。日常診療で患者さんから得られる疑問を解決する、現時点の医療知識、技術、医療機器で解決できない病態の解明と、治療法を創出するために、日夜、診療、教育、研究に取り組んでおります。医学部研究棟 10 階にある皮膚科学教室の医局からは万博記念公園と大阪市が一望でき、ここから世界に情報を発信し教室員一丸となり新しい時代の皮膚科学を創りだすことを目標としています。皮膚は精緻な恒常性維持機構を持ち最外層でのストレス侵襲に対応するため、その破綻が多様な皮膚疾患の原因や悪化因子となります。膠原病における特異的自己抗体のサブセット分類と更なる病態解明、炎症性皮膚疾患における B 細胞の機能の解明、皮膚に常在する resident memory T 細胞の病原性とフロントバリアとしての機能の解明、角化細胞の免疫制御機構の解明、全国的にも有数の症例数を誇る白斑、皮膚リンパ腫、結節性硬化症や神経線維腫症I型などの遺伝性皮膚疾患についても、臨床の疑問に即した、ヒト検体を用いた translational な研究が進められています。科内のみならず、基礎研究室の先生方とオートファジーや網羅的解析についても研究を進めており、また、工学部とラマン顕微鏡を用いた新たな測定法の開発にも取り組んでおり、幅広い研究が可能です。